

バイト先でエッチな言葉
を言わされて興奮
してしまった私

某イタリアン系のファミレスでバイトしている専門学生です。

最近お客さんでペペロンチーノのことを
「ペロペロチンチン」
ってわざと言ってくるオジサンがいて困っています。

最初は無視して
「ペペロンチーノですね」
と受け応えていたのですが

最近オジサンが
「注文ちゃんと繰り返してよ」
と言ってきたので

どうでもいいやと思って
「はい。ペロペロチンチンですね」
って言ってやったの。

そうしたらオジサン動揺しちゃって
「じゃ、ミラノ風ドリアも追加ね！」
って言ってきた。
わけわかんね～(笑)。

自分がバイト中に
「チンチン」という言葉を発したのに興奮したのか
トイレに行くとパンツが濡れていて
そのままオナニーして軽くイッちゃいました♪

バイト後も「ペロペロチンチン」という
言葉のリズムの良さが忘れられなくて

そのまま彼氏の家に行って
「ねえ、ペロペロチンチンしていい？」
って言って

ゲームのコントローラーで両手が塞がってる
彼のオチンチンを思う存分ペロペロさせてもらいました。

「ペロペロチンチン
ん……
ペロペロチンチンおいひい♪」

と私がオチンチンを咥えながら言うと
彼も興奮してきたのか
私のオマンコをペロペロしてきました。

彼の下が私のクリや穴を丁寧に舐め回してきて
気持ちよくなってきた私は

「ああ……
気持ちいい
もっとペロペロマンコしてえ～！」

と普段は絶対言わないような
はしたない言葉を発していました。

その後、私と彼はシックスナインの体制で
お互いのオチンチンとオマンコを
ペロペロしあいながら
仲良くイっちゃいました♪

二回戦はバイトの制服を着せられてのエッチ。

ノーパンにスカートで
お尻を高々と上げさせられ

「ご注文は私のオマンコでよろしかったですか？
一緒にドリンクバーはいかがですか？」

と言われ
私の愛液を
直でチューチュー飲まれました。

その後、
彼のミラノサラミみたいなゴツいチンポで
オマンコの中をゴリゴリされて
何度もイっちゃいました。

彼がイった後は
まだ尿道に残っているカルボナーラソースを
きれいにペレペロチンチンしてあげました ♪

エッチな言葉を
言わされて
感じてしまった
私…………。

人には言えないからここで告白しちゃうけど
オナニーが大好きなんです……。

自分でオモチャを買って
1人で楽しんでいたのですが

ある日チャットで
「もっとエッチなことを教えてあげます」
というメッセージを見つけてしまいました。

その方は一回り以上年齢が上で
とても優しい方でした。

好奇心が抑えきれなかった私は
少しだけ怖かったけどその方と会っちゃいました。

指や舌で乳首もオマンコも思う存分愛撫され
自分が今何をされているのか言葉で言わされました。

「知らないおじさんに
もっとエッチな体にしてもらいたくて

乳首も舐められ、オマンコも指で突かれている
犯してほしい！」

なんてお願いして
本当にエッチで
どうしようもない女だと思いながらも
その背徳感で何度もイッてしまいました。

エッチな言葉を言わされるたびに
体が疼いて何度もおねだりしてしまいました。

思いつき犯されて
本当に気持ちよくてたまりませんでした。

今でもこの時のセックスを思い出しては
1人エッチをしています。

以前よりもあきらかに回数も増え
妄想もよりエッチなものになってしまいました。

時々誰でもいいから犯して欲しいと
考えてしまうようになって
ちょっと怖いです……。

喫茶店茶店のバイト でノーパンノーブラで 接客させられた私

学生の時に

夏休みの間だけ商店街にある
小さな喫茶店でバイトをしてました。

近くに大型ショッピングセンターが
できた事もあって
平日の昼過ぎから夕方までは暇で……

マスターに
セクハラされちゃうようになりました。

最初はすれ違う時に
お尻なでられるくらいで……

でも単に当たっただけかな？とか
自意識過剰過ぎかな？
って気にしない様にしてたんだけど……

それがやっぱり
わざとだったんだって分かったのが
制服で渡されたタイトスカートが
すごく短く裾上げしてあるのを見た時です。

少し前かがみになると
後ろから見えちゃうくらいの丈なのに

給料アップするから
ノーブラノーパンで
接客するように言われました。

まだスカートにエプロンをしていたんで
お客さんからは
何も言われなかっただけよかったけど……

でも乳首は服で擦れて
ビンビンに立っちゃってるし

いつ気づかれるかもしれない状況もあって
紅潮してしまっている自分に気づいて
恥ずかしくてたまらなかったです。

お客さんの帰ったあとには
厨房で食器を洗っていると
後ろからお尻を直接なでなでされて……。

スカートをあげてお尻丸出しにされて
マスターは股間をお尻にスリスリしながら
喘ぎ声を出したりしてました……。

ズボン越しでもわかるくらい大きくて
長くて凄く熱かったから

私もだんだん気持ちよくなってきちゃって
お皿なんて洗える状態じゃ
なくなっちゃいました……。

男の人の喘ぎ声って興奮しちゃう(〃▽〃)

だから尚更立ってられなくなっちゃって
私も体が火照ってきちゃって……

『え？どうした？感じちゃった？』
とか言われて恥部を撫でられて……。

『こんなべっちょべっちょになっちゃったんだ
○○ちゃんって結構スケベだったんだね』

って嬉しそうにしてそのまま
指と舌で巧みに気持ちいいトコを
攻めてくるんです……。

厨房じゃもうビチャビチャな音と
マスターと私の声や吐息が響いて
正直凄く興奮してしまいました……

倍の年齢差があるのにもかかわらず

マスターは毎回最低二回は求めてきます。

もともとそんなに
エッチは好きじゃなかったのに

この夏ですっかり開花されてしまって

『オチンチンが欲しいの！』とか
『おまんこにズブズブして』って
言わないと気持ちが高まらなくなっていました。

今こうして投稿するのに思い出しちゃって
アソコが濡れちゃいます……

(ご注意)

この電子書籍の著作権は蒼月まこと及びブルームーンパブリッシングに帰属します。
本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。

本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。

また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。